

# 平成15年度第1回熊本県環境影響評価審査会 議事概要

日時：平成15年5月29日（木）午前10時～午前10時30分

場所：熊本テルサ2階「研修室CD」

## 出席者

熊本県環境影響評価審査会：今江会長、内山委員、木田委員、古賀委員、鈴木委員、  
西岡委員、長谷委員、林委員、弘田委員、藤木委員、  
吉田委員

事務局：熊本県環境生活部環境政策課職員（松見課長、村山課長補佐、宮崎主幹、  
坂本主幹、小澤参事、藤山主任主事）

事業者等：菊池市環境課（荒木課長、下田係長、角田主事）  
コンサルタント（1人）

## 議題

「菊池市一般廃棄物最終処分場整備事業」環境影響評価方法書について

## 議事概要

### 1 事業及びアセスの概要について

審査会事務局（環境政策課）から、今回事業概要の説明並びに熊本県環境影響評価条例に基づくこれまでの手続きの経過及び今後の手続きの流れについて説明が行われた。

### 2 アセス審査会意見（案）について

「菊池市一般廃棄物最終処分場整備事業に係る環境影響評価方法書」に関する熊本県環境影響評価審査会意見（案）に基づき審議が行われた結果、意見（案）のとおり、審査会意見とすることとされた。

各委員の主な意見等は別紙のとおり。

## 傍聴者

なし

## 配布資料

- 1 「菊池市一般廃棄物最終処分場整備事業」に関する環境影響評価手続き等について
- 2 「菊池市一般廃棄物最終処分場整備事業に係る環境影響評価方法書」に関する熊本県環境影響評価審査会意見（案）

(別紙)  
審査会委員の主な意見等

[ 全般的事項 ]

【委員発言 1】

地域特性の把握については、どの事業にも当てはまるが、これは、常に言わなければならない事項である。

また、浸出水は漏れないとの前提ではなく、漏れたときどうするのか考えておく必要がある。

[ 動物・植物・生態系 ]

【委員発言 2】

全般的な事項なのかもしれないが、もう少し自然環境に対する謙虚な姿勢が文章に現れていいのではないか。

【委員発言 3】

事業をるところだけでなく、その周りの状況を調べておくことで、事業実施後の環境変化を知ることができる。

[ その他 ]

【委員発言 4】

意見全体をまとめると、このように抽象的な簡単な形になってしまうが、方法書の段階からいろいろと出てきた意見を、重く受け止めて進めていただきたい。

【委員発言 5】

方法書 P.15 の浸出水処理設備フローについて、この事業に合った適切な処理方法といえるのか。

【事務局発言】

準備書までに、このフローでいいのか、詳細に検討するよう事業者には伝えている。